



家畜保健衛生所だより

R6.11.1

愛媛県四国中央市で豚熱（CSF）が発生！

（国内 94 例目、県 1 例目）

11月1日、愛媛県四国中央市の養豚農場においてCSFの患畜が確認されました。本県での飼養豚での発生は今回が初めてとなります。

【発生農場の概要】

- ・ 農場所在地 愛媛県四国中央市
- ・ 飼養頭数 61頭
- ・ 経緯 10月31日:農場から特定症状(死亡豚増加・耳介のチアノーゼ)確認の通報があり検査を実施。
CSFの疑いが生じたため国※による精密検査を実施。
11月1日:患畜決定(精密検査陽性)。 ※農研機構動物衛生研究部門
防疫措置開始。

愛媛県では令和3年10月から、県内で飼養されている全ての豚やイノシシを対象にCSFワクチン接種を行っていることから、本事例に関して制限区域は設定いたしません。

CSFワクチンを接種していても、免疫付与の状況によっては発症する可能性がありますので、以下について改めてお願いします。

◎農場内・豚舎内へのウイルス侵入防止対策について再点検を！

不十分な場合には、対策強化・徹底をお願いします。

◎適時・適切なワクチン接種が重要です。

適切な飼養管理徹底の上で、適切なワクチン接種を行ってください。

◎飼養豚に異状がないか、日々の健康観察をお願いします。

CSFは、特徴的な症状がなく、気がつきにくい疾病です。

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等の異状がないか、毎日確認し、異状がみられた場合には、すぐに下記までご連絡ください。

中予家畜保健衛生所

電話 089-990-1333

携帯 090-6282-6129（夜間・休日）